

私の話を聞いてください

藤井 彩衣

4月、新しい先生がきて私の担任になった。どこか暗い雰囲気、猫背の先生。

ある時、ささいなことをきっかけに私と先生が仲良くなった。無口だと思っていた先生の話はいつも楽しかった。

ある日、先生が突然私に話し始めた。

「これは前の学校にいたときの実体験。学校で一人残業をしていると、いつの間にか外は大雪。仕方なく、その日は学校に泊まることにしました。電気を消して寝ていると、荷物をひきずるような音で目が覚めました。気のせいだと思いい目をつむると、今度はもっと近くでズズズズという音が。電気を付けてみましたが、誰もいません。電気を消すと今度は上のほうからズズズズ。恐怖のあまり部屋を出て朝まで車で過ごしました。次の日から、先生のまわりで不思議なことが起きるようになりました。急にお皿が割れたり、ドンという音がしたり、黒い影が見えたり。気味が悪くて、霊媒師に相談に行ったら、強い霊が取り憑いていると言われて、取り除

く方法を教えてもらいました。もう大丈夫。」

先生は「聞いてくれてありがとう。」と笑っていた。

家に帰ると、なんだか体が重かった。何か音がして台所に行くとお皿が割れていた。違う部屋からドンという音が聞こえた。耳をふさぐと女の人の悲鳴が聞こえた。

私は怖くて家を飛び出した。

近所に霊媒師さんがいることは知っていた。なりふりかまわずそこに駆け込んだ。

霊媒師さんは、私を見るなり

「強い霊がついているね。これは誰にも祓えない。」といった。そんな…。すると霊媒師さんが言った。

「祓えないけど、その霊を違う人に移すことはできる。体験した話を、移したい誰かに話すだけ。ただ、半年以内に話さないとあなたはこの世から…」

そうか、だからあの時先生は…。

わたしは話を聞いてくれる人をずっと探していた。そしてあなたを見つけました。

聞いてくれてありがとう。